



静岡県のブナに遺伝的な 地域差がありました

広葉樹の植栽

森の力の回復

問題点

地域の固有性破壊（遺伝子攪乱）

環境不適合による生育不良

土壌流出や

林地崩壊の防止



遺伝的な地域差を把握した上で、種苗を移動させても良い範囲を決める必要があります。



ブナ

北海道から鹿児島県まで分布

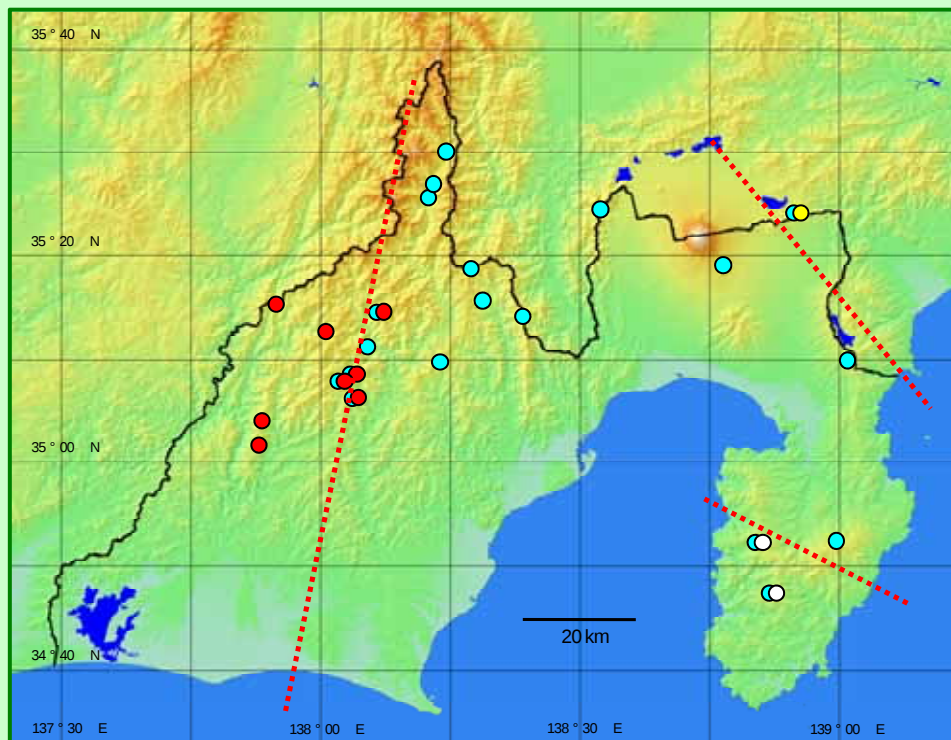
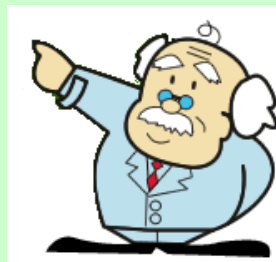
水源涵養のため、重要な広葉樹

森林・林業研究センターでは、県内のブナについて遺伝子のタイプを調査しました。

裏面には、詳しい試験研究結果があります。



● ブナの葉緑体DNAを解析しタイプ分けしました。



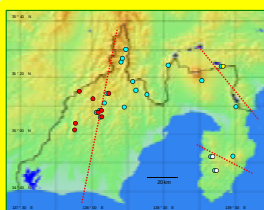
- D タイプ：
西部
 - E タイプ：
中部から東部、伊豆
 - F タイプ：
静岡県と山梨県との
県境域
 - N タイプ：
伊豆半島南西部
- 破線：
タイプ間の境界域
(推定)

地図は杉本智彦氏によるソフトウェア「カシミール3D」を用いて作成した。

静岡県内のブナには4つのタイプがあり、遺伝的な地域差がありました

● 成果の活用事例

地域の環境に適した
種苗の供給に役
立ちます。



遺伝的地域差に
ついての情報

全国的な種苗配布
区域の決定に活用
されます。



地域の環境に適した
種苗の植栽に役
立ちます。



発行日：平成21年3月1日

編集：静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター

発行：静岡県森林・林業研究センター振興協議会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 (静岡県森林組合連合会内)

発行元は解散しました。

TFI (054)253-0195

FAX (054)253-2328